

2019 (令和元) 年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：低温レーザー干渉計 CLIO による重力波研究（Ⅲ）
英文：Study of Gravitational-wave by cryogenic laser interferometer
CLIO in KAMIOKA Mine（Ⅲ）

研究代表者 大橋正健（東大宇宙線研）
参加研究者 東大宇宙線研 三代木伸二、内山隆、宮川治、田越秀行、
戸村友宣、早河秀章、上泉眞裕
東大地震研 新谷昌人
国立天文台 麻生洋一
産総研 寺田聡一
富山大学 山元一広
長岡技術科学大 高橋弘毅

研究成果概要

CLIO 本体は、水没事故以来、復旧作業を続けているが、未だ稼働できる状況ではない。これまでは KAGRA の建設を最優先し、マンパワーをそちらに集中してきたからであるが、2019 年度に KAGRA が完成して、本格観測を開始できたので、今後は徐々に CLIO の整備を進めていくことにしている。KAGRA の開発研究の一部を CLIO で行うことや、重力波研究における学生の教育の場としての活用も考えている。

整理番号 F20